

# 岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール

安井校・倉藤秀昭



毎日頑張っている皆さんに、活力を与えられるような記事を書いていきます。

## 問題【理科】

A～Fの動物の仲間の増やし方を、次のア～オから選びなさい。

A：メダカ      B：スズメ      C：ヘビ  
D：イヌ      E：カエル      F：ウミガメ

- ア 殻のない卵を水中に産む  
イ 親の体内で育ち、親と同じ形の子が生まれる。  
ウ かたい殻がある卵を陸上に産み、親が育てる。  
エ 弾力のある卵を陸上に産む  
オ 寒天状のものに包まれた殻のない卵を水中に産む。

## 豆知識 雑学コラム

### びっくり！な子づくり

生き物の子どもをつくる方法や、産み方などはある程度生き物のグループによって分けることができます。ただ中にはその枠に収まらない面白い生き方をしているものもたくさんいます。

まずはサメ！ キャビアがチョウザメの卵と知っていれば、卵を産むんだらうなど考えられます。しかしサメは卵として水中に生む種類は、実は多くありません。どうしているのか…。なんと卵は母親の中から出ることはなく、そのまま母親の中でふ化します。これを卵胎生と言います。そして生まれたサメは同じ母親の中にいる他の稚魚や卵を食べ始め、ある程度成長してから母親から生まれてきます。弱肉強食という言葉にふさわしい生き方が生まれた時から始まっています。

次にイシモチという種類の魚がいます。この魚はメスが産んだ卵をパクッと口の中に入れちゃいます。食べちゃった！？ いえいえ、そうではありません。口内保育と言って、子どもが生まれるまで他の生き物に食べられないように、口の中で守っているのです。その役割を担う魚は当然子どもが生まれるまで満腹に食事ができません。だからなのか、飼育途中に間違っって食べちゃうこともあるんだとか…。

最後にカモノハシ！ 私の一番好きな動物で、元々とても変わった生き物です。最近は教科書にも載るようになったので、是非見て下さい。かわいさでもん絶します（笑）。さて何が変わっているかというと、カモノハシは分類上哺乳類なので、胎生という赤ちゃんを産む増やし方をするはずなのですが、なんと卵で産みます。さらに面白いのは生まれた赤ちゃんを今度は、母乳で育てます。

皆さんも気になった動物がいたら、調べてみてはいかがでしょうか。

## 【解答】

A：ア B：ウ C：エ D：イ E：オ F：エ